



令和6年度 学校だより

令和6年10月31日

くすのき



白沢小ホームページ <http://www.ueis.ed.jp/school/shirasawa/>

白沢小学校長 石渡 美穂

「いじめゼロ」を目指して ～「いじめゼロ集会」を実施しました～

宇都宮市立小中学校では、5月と9月（10月）が「いじめゼロ強調月間」に位置付けられています。本校でも、毎年この期間に合わせて、いじめについて児童自身が考える機会をつくっています。いじめの指導では、何より、当事者となり得る子供たち自身の「いじめは絶対に許さない」という思いを高める必要があります。

本校では、10月の強調月間に合わせて、毎年、児童会(集会・代表委員会)主催で、「いじめゼロ集会」を実施しています。もちろん、集会が実施されるまでに、児童の思いを高める指導は教員が担いますが、当日は、児童の手により会を進め、児童の言葉でいじめゼロへの思いを語るようにしています。

今年度は、児童会の代表児童が、いじめが題材になっている絵本「わたしのせいじゃないーせきにんについて」(レイフ・クリスチャンソン)の読み聞かせを行うとともに、代表児童が作成した合言葉「いじめだめ 分かっているなら 止められる」を全校児童で確認しました。読み聞かせについては、いじめの傍観者に焦点が当てられた内容であったこと、代表児童がとて真剣な態度で取り組んだことによって、児童全員が深く考える様子がありました。

今後も、子供たち自身が考えていけるよう、繰り返し指導に取り組んでまいります。



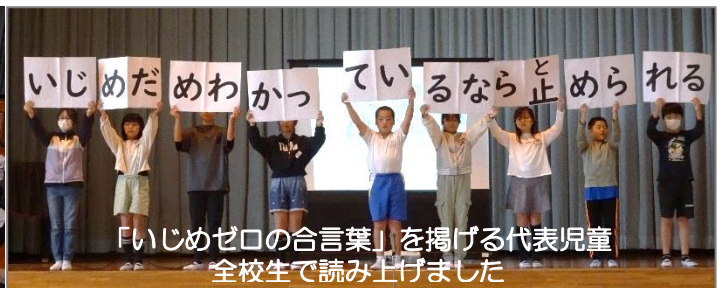
学校の代表として活動している集会・代表委員の様子



始め・終わりの言葉にも、自分の思いを添えていました。



読み聞かせを真剣に聞く児童の様子



「いじめゼロの合言葉」を掲げる代表児童
全校生で読み上げました



代表児童作成ポスター(一部) 校内に掲示してあります



👉 裏面へ

郷土「白沢」の資源を活用した教育活動を充実させています

本校の重点目標の一つに「郷土への愛情と誇りをもてるようにすること」を掲げていること、1学期も白沢地区にある資源を活用した教育活動を推進してきたことを、これまでの学校だよりで、お伝えしてきました。大人には、この地区が恵まれた環境にあることを経験的にも理解できるのですが、他地区と比較する術のない子供たちには、当たり前にあるものであり、恵まれているとは考えにくい可能性があります。

そこで、各学年で予定されている地域を生かした学習活動を実施する際には、そのことが、いかに貴重なことであるかを担任から伝えるようにしています。加えて、2学期の始業式でも私の話の中で、そのことに触れました。子供たちに、ここ白沢のよさが伝わるとよいと思っています。

また、昨年までの活動は継続し、それらに加え、今年度は以下の活動も実施していきます。6年生の活動はすでに実施済みですが、鎌倉への修学旅行前に実施し、白沢地区の深い歴史について、社会の学習とも関連付けて学べるようにしました。



学年	教科	単元名等	活用する地域資源（学習形態）
4年	総合	やさしい町ってどんな町	河内総合福祉センター（校外学習）
5年	総合	白沢の環境はどうなっているの？	グラウンドワーク西鬼怒（講話）
6年	総合	歴史の息づく町：白沢・鎌倉	元白沢小学校校長（講話・校外学習）



「スマホ・ケータイ宮っ子ルール徹底週間」

さくら連絡網でお知らせしましたが、10月21日～10月27日は宇都宮市教育委員会が設定した「スマホ・ケータイ宮っ子ルール徹底週間」でした。今回は、「不適切な画像や動画の送信・拡散に注意しよう」がテーマとなっていました。送信した資料には「不適切な自撮り画像などが一度ネット上に拡散してしまうと、完全に削除することは難しくなり、何年も後になってそうした画像が再度出回り、将来の子供たちを苦しめることもあります。」との記述がありました。実際、宇都宮市においても、そのような事例がすでに起きているということです。

さくら連絡網の配信内容をご確認の上、お子様と一緒に、今回に限らず、ご家庭で繰り返しスマホやネットの使い方に関するルールの確認・見直しをしていただきますよう、お願いいたします。

